

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
社会福祉論 I	田中 武士	講義	2	社会福祉士	2	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	現代社会における生活問題は複雑化・多様化している。これらの問題について、様々な文献や新聞記事、映像等を用い、現代社会のなかで生きる人々の姿を丁寧にとらえていく。社会構造の問題から、生活上の様々な困難を強いられる人々への眼差しと理解を重視する。健康で文化的な生活とは何かについて深く考える力、それを論理的に自分の言葉で語ることのできる力の獲得を目的とする。						
到達目標	①歴史的な視点から現代における社会福祉をめぐる諸問題および社会的背景について関心が持てる。 ②社会福祉関連の制度や政策を検討し、それらに対する自らの意見を整理することができる。 ③人間らしい生活のあり方について、論理的に考えることができる。						
回	学習内容						
1	オリエンテーション（授業内容の予定と評価の方法）						
2	現代社会における社会問題と暮らし						
3	社会福祉と家族						
4	社会福祉と子どもの権利						
5	社会福祉と障害のある人の権利						
6	社会福祉と高齢者の権利						
7	社会福祉の歴史（救貧制度）						
8	社会福祉の歴史（生存権保障）						
9	社会福祉の理念						
10	社会福祉の思想						
11	社会福祉の援助方法（ソーシャルワークとは何か）						
12	社会福祉の援助方法（ソーシャルワークの理論と方法）						
13	社会福祉の倫理						
14	これからの社会福祉（地域共生社会のあり方について）						
15	試験および試験終了後に解答の解説						
予習内容 復習内容	予習：授業計画を参考に、日頃から新聞記事等に目を通し社会の状況に触れておくこと。 復習：配布したレジュメと資料、参考文献等の該当箇所をよく見返すこと。						
教科書	・指定のテキストは使用しない。適宜レジュメと資料を配布する。 ・参考文献：丹波史紀ら編（2021）『たのしく学ぶ社会福祉』ミネルヴァ書房。坪洋一ら（2016）『問いからはじめる社会福祉学—不安・不利・不信に挑む』有斐閣。他にも授業中に紹介する。						
成績評価	・小レポート：30%（毎授業後）、試験：70%で総合的に評価する。 ・公欠以外で授業を6回以上欠席した場合、試験の受験資格を失う。						
実務経験	医療機関や在宅介護支援センターなどでソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員）として20年以上の勤務経験あり。						
その他 特記事項	・授業は受講者と意見交換をしながら進めるため、主体的な態度での参加を求める。						